

# 第6回研究集会 "日本における地震発生予測検証実験 (CSEP-Japan) "

・最終更新：2015年7月9日

日時：2015年7月23日(木)-24日(金)

場所：統計数理研究所 第1セミナー室 (D305) 会場へのアクセス

## プログラム

### 第6回研究集会 "日本における地震発生予測検証実験 (CSEP-Japan)

- ・場所：統計数理研究所
- ・言語：日本語 (初日の13:10-14:50の発表については英語、ビジネスミーティングも日本語)

#### 7月23日(木)

- ・座長 鶴岡
- ・13:00-13:10 開会の挨拶 平田直
- ・13:10-13:30 Hypocentral ETAS model
  - ・庄 建倉 (Jianchang Zhuang) 郭一村 (Yicun Guo) 周仕勇 (Shiyong Zhou)
- ・13:30-13:50 Determining the actual nodal planes in earthquake focal mechanisms.
  - ・王 敏真 (Minzhen Wang) 庄 建倉 (Jianchang Zhuang), Bogdan Enescu, Dun Wang
- ・13:50-14:10 History of network detection completeness in Japan
  - ・Danijel Schorlemmer
- ・14:10-14:30 Earthquake hazard estimation based on the seismicity simulation in Northern China
  - ・周仕勇
- ・14:30-14:50 Operational Earthquake Forecasting in New Zealand: Advances and challenges
  - ・Matthew C. Gerstenberger
- 休憩 14:50-15:10
- ・座長 石辺
- ・15:10-15:30 首都圏の地震発生予測モデルの構築に向けて：プロスペクティブテストの経過報告
  - ・横井佐代子、鶴岡弘、平田直
- ・15:30-15:50 繰り返し地震の発生回数による長期的発生予測への影響
  - ・田中昌之 岡田正実・内田直希
- ・15:50-16:10 区間推定を含むデータを用いた繰り返し地震の長期的発生確率の計算 - BPT分布
  - ・岡田正実 (気象研) 田中昌之 (気象研)

- ・ 16:10-16:30 地震発生回数の分布，発生時間間隔の分布
- ・ 山科健一郎

休憩 16:30-16:50

- ・ 座長 横井
- ・ 16:50-17:10 トンガ・ケルマディック海溝で発生するプレート境界型地震と潮汐との関係
- ・ 弘瀬冬樹，上垣内修・前田憲二
- ・ 17:10-17:30 東北沖地震後の地震活動の潮汐応答に関する予察的検討
- ・ 石辺岳男
- ・ 17:30-17:50 地震発生域の上部・下部地殻構造
- ・ 松原 誠
- ・ 18:30-20:30 ビジネスミーティング（１）

## 7月24日（金）

- ・ 座長 近江
- ・ 9:00-9:20 群発地震活動の体積歪による予測
- ・ 熊澤貴雄 尾形良彦、木村一洋、前田憲二、小林昭夫
- ・ 9:20-9:40 関東中規模地震モデルの検証
- ・ 井元政二郎
- ・ 9:40-10:00 前震活動に基づく地震発生の経験的予測 - 長野県北中部地域への適用 -
- ・ 前田憲二・弘瀬冬樹
- ・ 10:00-10:20 前震群の識別条件の探索とその予測可能性
- ・ 野村俊一

休憩 10:20-10:40

- ・ 座長 熊澤
- ・ 10:40-11:00 Hi-net 自動処理震源カタログを用いた余震確率予測
- ・ 近江崇宏 尾形良彦、汐見勝彦、Bogdan Enescu、澤崎郁、合原一幸
- ・ 11:00-11:20 速度・状態依存摩擦構成則を用いた余震活動解析
- ・ 岩田貴樹
- ・ 11:20-11:40 ETAS の GUI 解析ツール：XETAS について
- ・ 鶴岡弘・尾形良彦
- ・ 11:40-12:00 余震活動の異常とその解釈について
- ・ 尾形良彦

昼食

- ・ 13:30-16:00 ビジネスミーティング（２）